

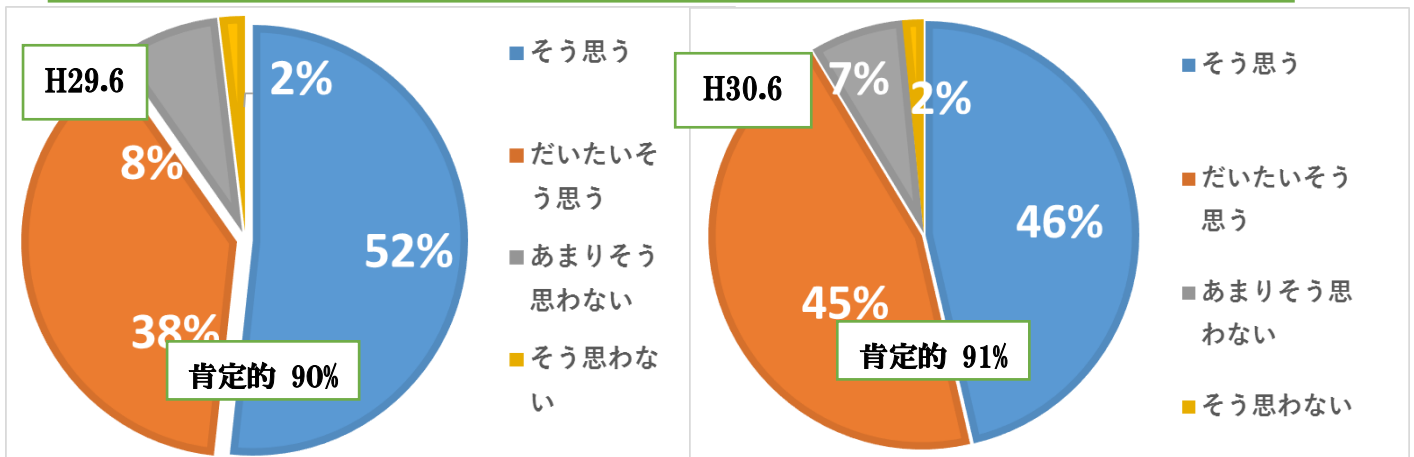
三心を磨く

学校だより NO. 33
平成30年 9月21日(金) 発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久 教頭
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

今回は、生徒による「1学期の授業評価」について実施したアンケートの結果を保護者の皆さんに公表いたします。2学期の「課題」や「改善点」として明らかにすると共に、生徒たちの現状について保護者の皆さんと理解を図りたいと思います。

2 生徒による『授業評価』の「経年比較」より

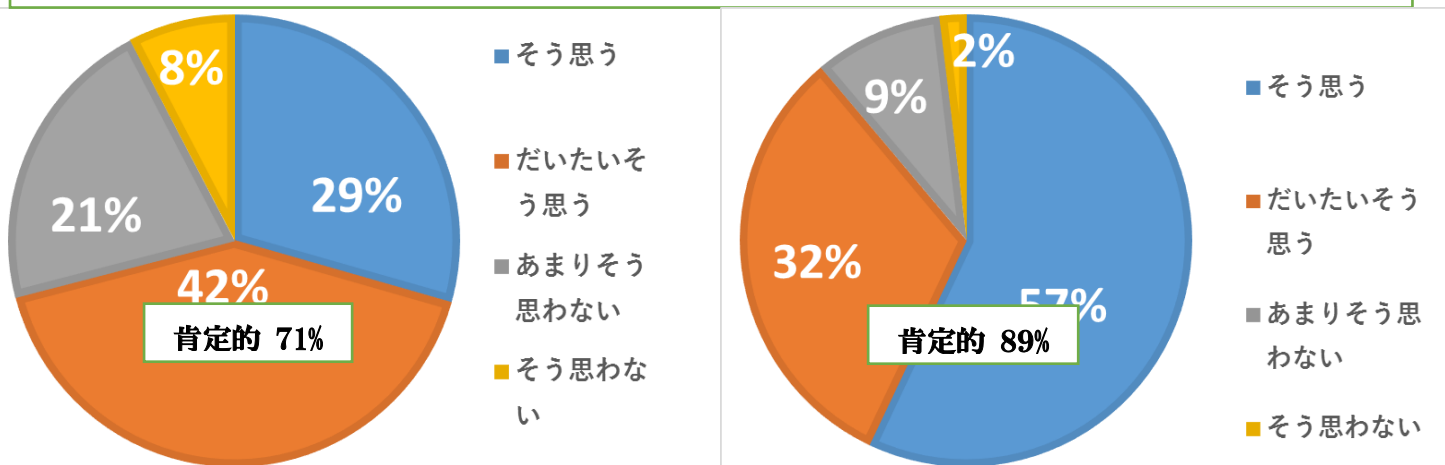
(1) 先生の授業は内容が充実していて、わかりやすく、満足しているか？（授業の満足度）



◇項目1は、「授業に対する満足度」についてです。この項目は、昨年度より90%を越えており、高い評価を得ていましたが、今年度も91%となり、昨年度を「1ポイント」上回りました。さらなる向上をめざしていきます。

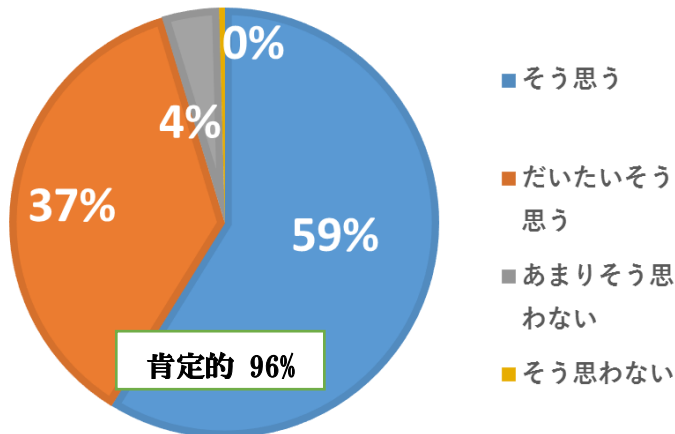
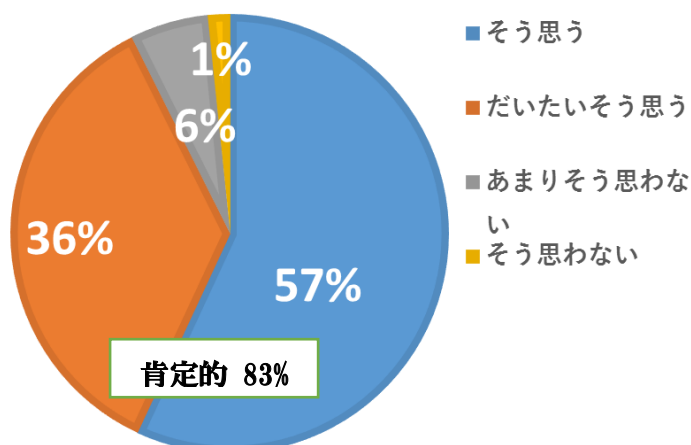
◇肯定的な回答91%について、その中身をみていくと、「そう思う」は46%であり、「だいたいそう思う」が45%でした。しかし、昨年度「そう思う」が52%だったと考えると、今年は「6ポイントダウン」と言うこともできます。授業における生徒たちの満足度がさらに向上するために、さらなる教材研級に努め、わかる授業をめざし授業改善を進めて行きたいと思ひます。

(2) 授業の中に、友だちとかかわり合いながら学習する場面があるか？（協同的な学習）



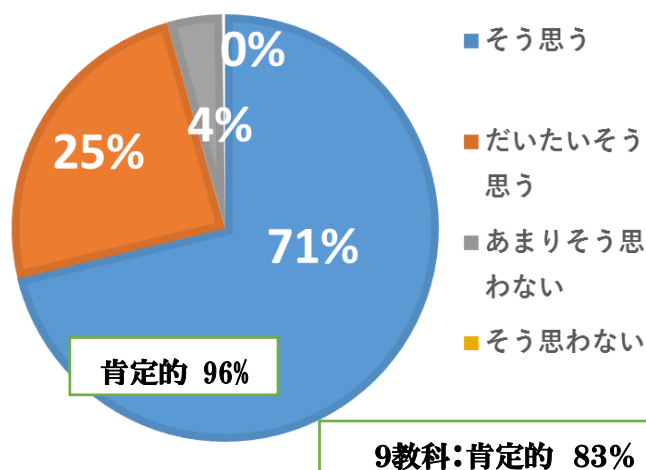
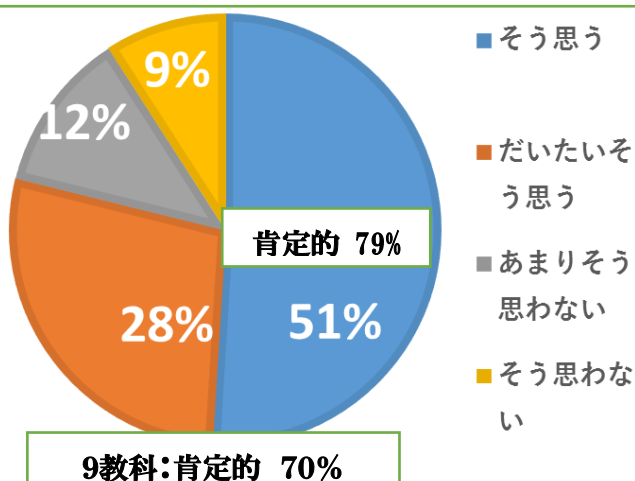
◇項目2は「授業の中にペアやグループ学習の中で、聴き合いや話し合い活動が仕組まれているか？」という問いです。本校が掲げている、生徒の学びを「インプット型」から「アウトプット型」に転換していくという試みに対する評価でもあります。結果は「89%」、昨年度よりも「18ポイント」増加しています。約9割の生徒が、授業が生徒同士の学び合いになっていると感じています。教師主導型からの授業を脱却し、「インプット型」から「アウトプット型」へと友だちとのかかわりを通して学び合う姿、学びを深める姿をさらにすすめていきたいと思ひます。

(3) 先生の授業は、一人一人を大切に、安心して学習できるか？ (授業での安心感)



◇項目3は「授業を安心して受けられているか？」という問いです。「96%」の生徒たちが、「安心して授業ができている」と答えたこと、大変うれしく思います。昨年度より「13ポイント」上昇できたこと、これもよかったと思います。しかし、この項目でめざすのはあくまでも「100%」の実現であります。すべての生徒が安心して授業ができるように、生徒の声に耳を傾け、教師の言葉かけや授業準備など、授業改善を進めていきたいと思ひます。

(4) 先生の授業は、ICT 機器が使われているか？ (ICT を使った授業改善の取組 : 5教科)



◇項目4は、「授業における ICT 機器の活用状況」を尋ねたものです。職員の授業改善を進めて行く中で、その柱として取り組んできたことです。今回の結果、5教科では「96%」の生徒たちが、日常的に ICT 機器が活用されていると答えています。昨年度より「17ポイント」上昇し、ICT 機器を使った授業があたり前に行われていることが確認されました。また、9教科でも「83%」となっており、ICT 機器が授業の中に位置づいていると言えます。これからは ICT 機器を活用した授業改善をさらに進めて行く中で、ICT 機器を、「アウトプット型授業」への転換の手段として積極的に活用していきます

【総合考察】

◇すべての項目において、昨年度同時期の結果を上回り、しかも90%を越えてきています。これは、先生方の授業改善が進んできていることに重なります。「わかる授業」を合言葉にさらなる改善を図ります。

◇生徒たちの記述には、「授業がわかりやすい」「授業が楽しくなった」「先生方が工夫して授業してくれる」「ICT 機器を使うとイメージしやすい」「友だちと話したり、意見を聞いたりする授業は楽しいし、よくわかる」といった意見が多く出されました。一方、「声や文字をもっと大きくしてほしい」「忙しいのはわかるけど、目を見て話してほしい」「もっと指名してほしい」「やる気になる褒め方をしてほしい」等の意見もありました。

※生徒たちからの声を大切に受け止め、声や文字の大きさ、対応の仕方、賞賛のあり方などを改善して参ります。